

経営体の概要

- ・所在地：群馬県前橋市
- ・経営体名：法人N
- ・栽培作物・作付面積：水稲70ha・麦60ha・露地野菜13ha
- ・構成員：123名（令和6年4月現在）

導入技術

- ・ほ場管理システムKSAS（（株）クボタ）
- ・KSAS対応GPS搭載直進アシスト田植機（（株）クボタ）
- ・KSAS対応GPS搭載トラクター（（株）クボタ）
- ・KSAS対応収量コンバイン（（株）クボタ）
- ・KSAS対応ブロードキャスター（（株）クボタ）
- ・農薬、肥料散布用ドローン（TEAD（株））



●ドローンによる農薬散布



●ブロードキャスターによる施肥

導入経緯

- 委託も含め、管理ほ場が集まる中、作業の省力化と担い手育成のため、ドローン散布機をはじめとするスマート農業機械を導入した。
- 収量コンバイン：平成27年度はばたけぐんまの担い手支援事業等活用
- ドローン散布機：令和3年度 前橋市スマート農業関連機器等導入支援補助事業活用

取組の特徴・効果

- ほ場管理システムで約800ほ場を管理している。
- KSAS対応コンバインを導入し、食味・収量・タンパク質含量についてはほ場ごとに把握し、収量・品質向上に向けた栽培管理につなげている。
- KSASではほ場ごとの肥料設計をし、KSAS対応ブロードキャスターではほ場ごとの肥料散布をしている。
- 直進アシスト田植機、トラクターを導入し、作業負担の軽減を図るとともに、研修生の受け入れなどでも活用し、担い手育成にもつなげている。
- ドローン散布機を導入し、水稲、麦の病害虫防除で活用。ほ場間移動や薬液の準備にかかる時間が労力が大幅に減った。今後野菜でも活用を検討。
（動力噴霧300分/ha→ ドローン12分/ha）